

はい！元気です



大崎町保護司会

現在、町内には、法務大臣から委嘱された6名の保護司がおり、各地区で活動されています。

保護司は、犯罪や非行をした人が社会復帰に際して、早期に改善、更生できるように必要な指導や助言などの援助を行うといったほかに、犯罪や非行を未然に防ぐための啓発活動を行ったりするボランティア団体です。

本町では法務省の主唱により毎年7月に『社会を明るくする運動』としまして、大崎町更生保護女性連盟の皆さんと一緒に学校訪問や街頭で犯罪防止啓発のためのティッシュ配布なども行っております。犯罪のない町づくりのために皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



会長

原田 正人

日頃から、保護司活動にはご理解とご協力を賜りありがとうございます。更生は人のつながりや支援なしではありえません。関係機関や地域の

皆さま方とともに進めていくことが大事だと思います。

これからも、私たち保護司会のメンバーは地域社会の理解と関心を深める活動をしてきたいと思っておりますので、引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。



おうしょうじ
～『翁松寺』跡の木入道公民館～

木入道公民館が建つ場所は明治初期まで『翁松寺』というお寺があったことをご存じでしょうか。お寺は仏事を行うだけでなく地域における教育や福祉、文化の拠点としての役割もありました。また、神社についても同じです。『社(やしろ)』という文字は、『ある目的を同じにする集団』という意味もあり、『社で会う』＝地域社会の拠点となっていました。現在は公民館として利用しているのですが、その重要な役割を引き継ぎ、木入道集落の地域コミュニティの場となっています。

ふるさとの風景を激写せよ！



特命！カメラマン

No. 58 農林振興課農政係 隈本 祐貴

経営所得安定対策（転作等）

に関することを担当しています。

